

2022年3月期
第2四半期
決算補足説明資料

2021年11月11日

地盤ネットホールディングス株式会社
(証券コード：6072 東証マザーズ)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
売上高	961	100.0%	1,076	100.0%	+114	11.9%
売上総利益	395	41.2%	396	36.8%	+0	0.1%
販管費	360	37.5%	405	37.6%	+44	12.5%
営業利益	35	3.7%	△8	△0.8%	△44	－%
経常利益	37	3.9%	△8	△0.8%	△45	－%
純利益	22	2.3%	△17	△1.6%	△40	－%

売上高：住宅サービスで買取再販を開始。地盤調査、部分転圧工事、BCPOも同期比で増加

売上総利益：解析サービスの原価上昇により横ばい

販管費：子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資実施

純利益：主に販管費増加分、前年同期に比べ減少

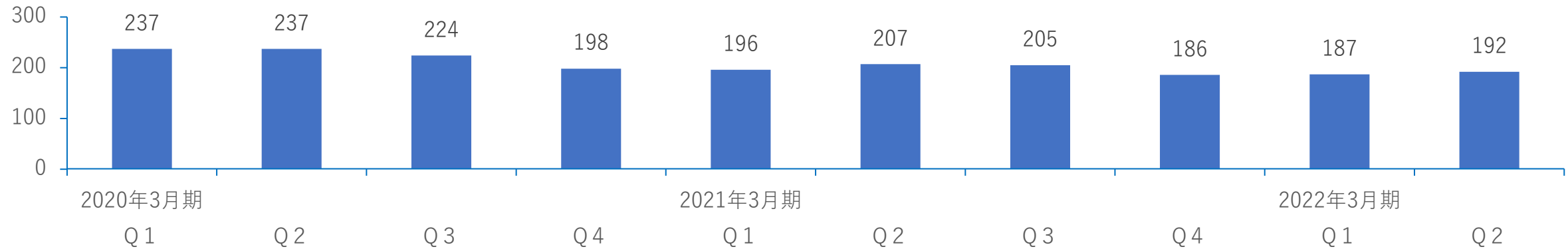
2. サービス別売上高 (単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
地盤解析	403	42.0%	379	35.3%	△23	△5.9%
地盤調査	243	25.3%	266	24.7%	+22	9.4%
部分転圧工事	107	11.2%	134	12.5%	+26	24.9%
BCPO	37	3.9%	92	8.6%	+55	149.6%
住宅関連	119	12.5%	153	14.3%	+34	28.6%
その他 ※	49	5.2%	48	4.5%	△0	△2.0%
合計	961	100.0%	1,076	100.0%	+114	11.9%

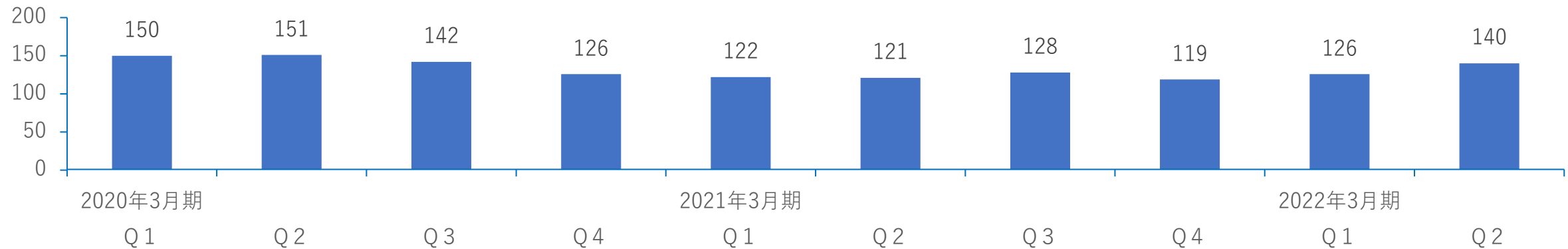
※その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

3. サービス別四半期別 売上高推移① (単位：百万円)

地盤解析サービス



地盤調査サービス

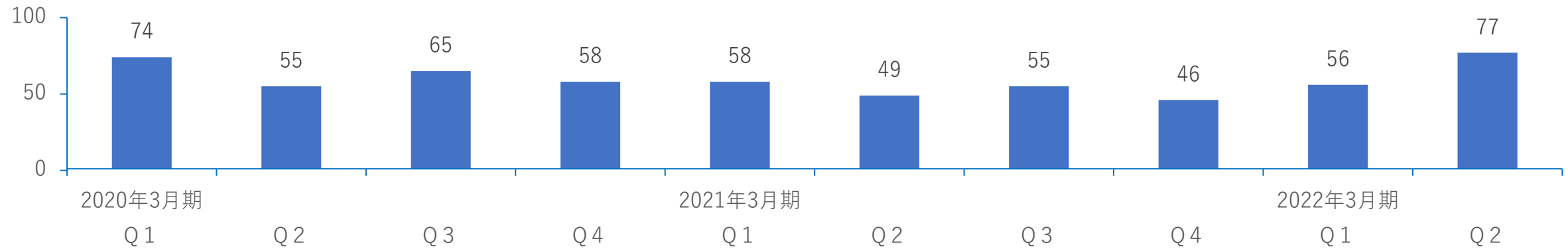


地盤解析サービス：競合他社、改良工事判定案件の増加、平均単価下落の影響はあるものの、増加傾向に転じた。

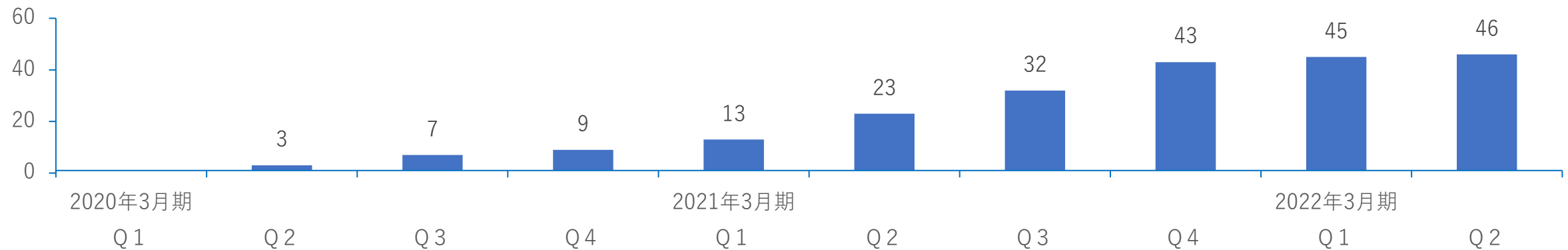
地盤調査サービス：新設住宅着工戸数の増加、営業体制見直しに伴い、増加。

3. サービス別四半期別 売上高推移② (単位：百万円)

部分転圧工事サービス



BCPOサービス

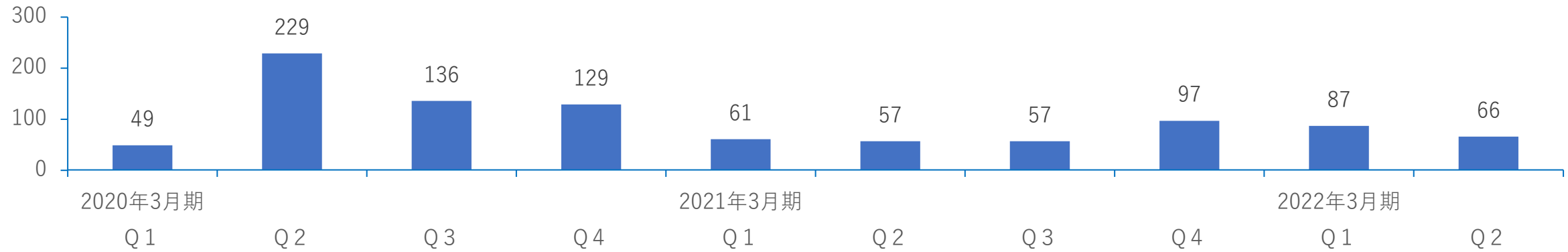


部分転圧工事：調査件数増加に伴い増加。

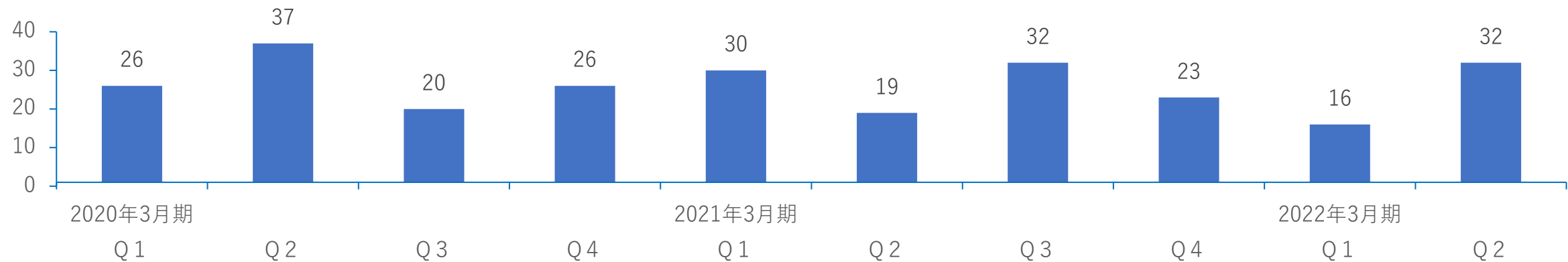
BCPO：商業施設や集合住宅等、戸建以外の案件も増加。

3. サービス別四半期別 売上高推移③ (単位：百万円)

住宅関連サービス



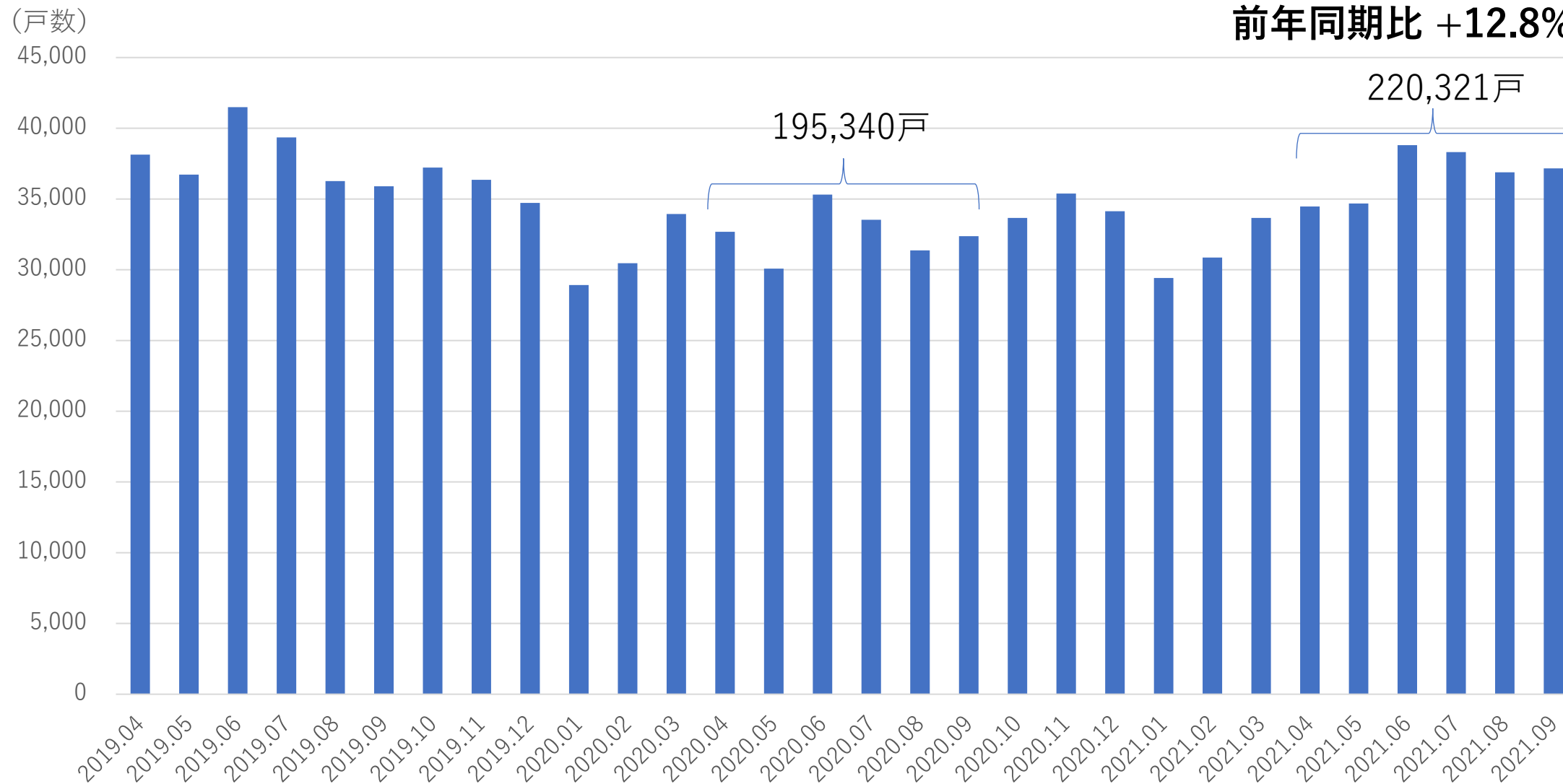
その他



住宅関連：買取再販を開始し、前年同期比で伸長。

その他：国のネットワークはある程度構築できているので、FC加盟や調査機器販売がスポットで発生。

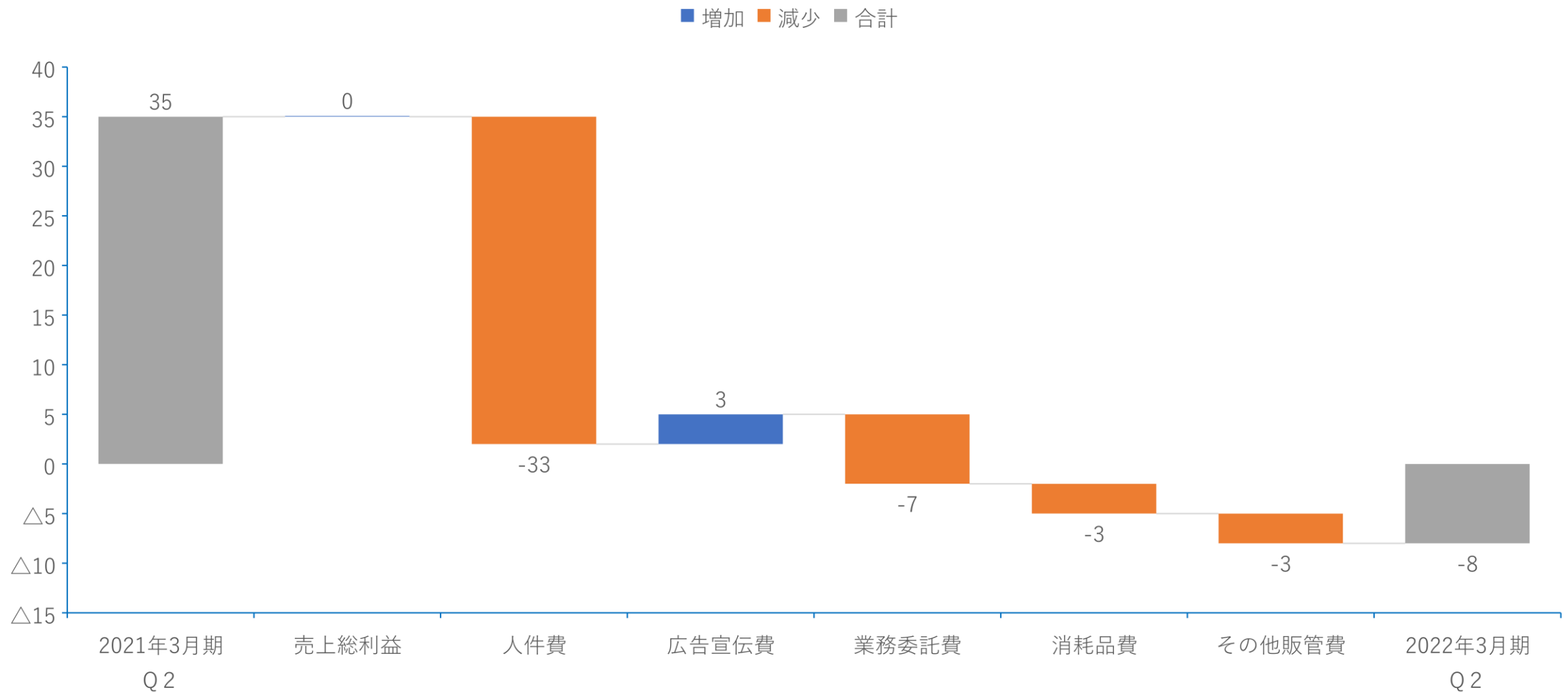
3. (参考資料) 新設住宅着工戸数 推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

4. 営業利益 増減要因 (単位：百万円)



子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資を実施。

5. 2022年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前期末比	
	期末	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
流動資産	1,573	91.6%	1,596	92.6%	+23	1.5%
有形固定資産	24	1.4%	25	1.5%	+1	7.3%
無形固定資産	38	2.2%	30	1.8%	△7	△20.3%
投資その他の資産	81	4.7%	70	4.1%	△10	△13.1%
固定資産計	143	8.4%	127	7.4%	△16	△11.6%
資産合計	1,717	100.0%	1,723	100.0%	+6	0.4%
流動負債	269	15.7%	285	16.6%	+16	6.1%
固定負債	170	9.9%	170	9.9%	+0	0.4%
負債合計	439	25.6%	456	26.5%	+17	3.9%
株主資本	1,283	74.7%	1,265	73.4%	△17	△1.4%
その他の包括利益累計額	△5	△0.3%	2	0.1%	+7	—
純資産合計	1,278	74.4%	1,267	73.5%	△10	△0.8%
負債・純資産合計	1,717	100.0%	1,723	100.0%	+6	0.4%

流動資産：現金及び預金 + 107百万円、受取手形及び売掛金 + 19百万円、立替金 + 19百万円、前払費用△132百万円

固定資産：長期貸付金△17百万円

流動負債：工事未払金+15百万円、未成工事受入金+48百万円、未払金△56百万円

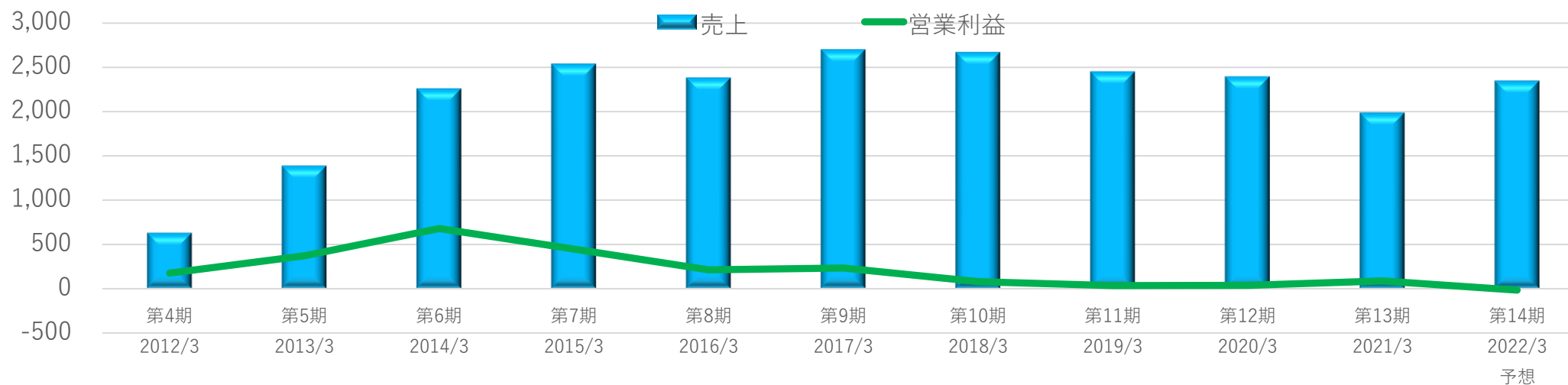
純資産：四半期純損失の計上△17百万円

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比
	Q2	Q2	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	65	107	+42
投資活動による キャッシュ・フロー	△17	△2	+15
財務活動による キャッシュ・フロー	0	△0	△0
現金及び現金同等物の 期末残高	521	658	+137

税金等調整前四半期純損失△8百万円を計上しているものの、前払費用の減少133百万円等もあり、営業活動によるキャッシュ・フローは107百万円の資金増。
現金及び現金同等物の増減額も107百万円となり、前期末より資金増となっております。

6. 直近10期間の連結業績推移と2022年3月期通期業績予想 (単位：百万円)

	第4期 2012/3	第5期 2013/3	第6期 2014/3	第7期 2015/3	第8期 2016/3	第9期 2017/3	第10期 2018/3	第11期 2019/3	第12期 2020/3	第13期 2021/3	第14期 2022/3 予想
売上高	630	1,390	2,262	2,542	2,384	2,704	2,673	2,455	2,398	1,989	2,350
営業利益	27	371	679	447	213	233	79	35	38	87	△16
経常利益	31	358	680	446	215	234	74	34	44	91	△16
純利益	19	214	426	279	131	176	67	17	△108	△33	△33



第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期業績予想の修正をしております。
体制整備のための先行投資については、来期以降を考慮し、当初計画通りに実施する予定です。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2021年11月11日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。